

産業廃棄物処理計画書

令和2年 6月 23日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県四日市市川尻町100番地

氏名 JSR株式会社 四日市工場

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 059-345-8050

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	JSR株式会社 四日市工場
事業場の所在地	三重県四日市市川尻町100番地
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	E16 製造業/ 化学工業
② 事業の規模	製品出荷額:106,379,496,598円
③ 従業員数	従業員数:2,092名 (2020年4月1日現在)
④ 産業廃棄物の 一連の処理の工程	添付資料-1参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

添付資料-2、添付資料-3

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組)	
・総合排水処理施設から発生する活性汚泥の自社焼却。 ・各部署で発生した産業廃棄物の自社焼却。 ・製造工程の安定化、品種切換の削減等による産業廃棄物の発生抑制。 ・各種産業廃棄物の有価物化。(燃料化、再生化) ・各種産業廃棄物の分別強化による有価物化。 ・汚泥乾燥機稼働による活性汚泥の減量化、燃料化。		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組)	
・汚泥乾燥施設安定運転による活性汚泥の燃料化への継続。 ・製造工程の安定化、品種切換の削減等による産業廃棄物の発生抑制継続。 ・各種産業廃棄物の有価物化(燃料化、再生化)継続。 ・各種産業廃棄物の分別強化による有価物化継続。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	・事業系一般廃棄物の分別強化。 ・製造工程で発生する廃プラスチック類(くずゴム)の分別強化。 ・各部署で発生する複合体の分別強化。(有価物化による外部処理の減量)。	
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	・事業系一般廃棄物の更なる分別強化。(有価物化による外部処理の減量) ・製造工程で発生する廃プラスチック類(くずゴム及びその他廃プラ類)の更なる分別強化。(有価物化の検討) ・各部署で発生する複合体の更なる分別強化。(有価物化による外部処理の減量)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組)	
・汚泥乾燥施設の稼働率向上。 ・汚泥乾燥施設稼働により製造した「乾燥汚泥燃料」の有効利用実施。(自社焼却炉燃料及び、他社燃料として利用)		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組)	
・汚泥乾燥施設の稼働率向上。 ・汚泥乾燥施設稼働により製造した「乾燥汚泥燃料」の有効利用量向上。(自社焼却炉燃料及び、他社燃料として利用率向上)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組)		
・汚泥乾燥施設の稼働率向上。 ・汚泥乾燥施設稼働により製造した「乾燥汚泥燃料」の有効利用量向上。(自社焼却炉燃料及び、他社燃料として利用率向上)		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組)		
・総合排水処理施設から発生する活性汚泥の自社焼却による減量化。 ・汚泥乾燥施設稼働による減量化。 ・各部署で発生した廃油類の自社焼却。 ・各焼却炉の廃熱回収。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) ・実施していない。	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) ・予定無し。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組) ・総合排水処理施設から発生する活性汚泥の自社焼却及び、汚泥乾燥施設稼働による減量化。 ・各部署で発生した廃油類の自社焼却による減量化。 ・製造工程安定化、品種切替頻度見直しによる各産業廃棄物の発生抑制。 ・各種産業廃棄物の有価物化(燃料化、再生化等)による減量化。 ・各種産業廃棄物の分別強化による減量化。 ・優良認定処理業者への収集運搬、処分委託推進。 ・中間処理後の残渣リサイクル推進。(サーマル、マテリアル、ケミカルリサイクル比率の向上推進)	

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		
(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none">・総合排水処理施設から発生する活性汚泥の乾燥施設稼働率及び、有効利用率向上推進を継続。・製造工程安定化、品種切替頻度見直しによる各産業廃棄物の発生抑制継続。・各種産業廃棄物の有価物化(燃料化、再生化等)による減量化継続。・各種産業廃棄物の分別強化による減量化継続。・優良認定処理業者への収集運搬、処分委託推進を継続。・中間処理後の残渣リサイクル推進を継続。(サーマル、マテリアル、ケミカルリサイクル比率の向上推進)		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います

 記入不要です

項目		廃棄物の種類 現状/計画	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	合計量 (t)	
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鋳さい	がれき類	ばいじん	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	家畜のふん尿	家畜の死体	動物系固形不要物	13号廃棄物	建設混合廃棄物		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																						0	
		今年度目標	961.9	85360.9	218.8	24.4	54.7	936.9		5	21.1		12.6	12829.4		30.6									100456.3
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																						0	
		今年度目標		83197.3	6.3																				83203.6
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																							0
		今年度目標		82238	6.3																				82244.3
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																						0	
		今年度目標																							0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																						0	
		今年度目標	961.9	3122.9	212.6	24.4	54.7	936.9		5	21.1		12.6	12829.4		30.6								18212.1	
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																							0
		今年度目標		1727.6	19.6	1.5	0.4	877.9		0.4	17.9					3									2648.3
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																							0
		今年度目標	961.9	1651.6	205.3	24.4	54.7	936.9		5	21.1		12.6	12829.4		27.6								16730.5	
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																							0
		今年度目標																							0
⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																							0	
	今年度目標		1471.3	7.2												3								1481.5	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。